

# CASBEE<sup>®</sup> あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ビューテック 株式会社 三好営業所 新設建物①	階数	地下0階地上2階
建設地		構造	S造
用途地域	市街化調整区域、第22条区域	平均居住人員	50人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,160時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2025年11月 予定	評価の実施日	2024年7月1日
敷地面積	23,885 m <sup>2</sup>	作成者	松浦 孔明
建築面積	4,613 m <sup>2</sup>	確認日	2024年7月1日
延床面積	4,762 m <sup>2</sup>	確認者	兼子 俊彦

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	76%
③上記+②以外の	76%
④上記+	76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性	N.A.
耐用性	2.7
対応性	3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.0
非再生材料の使用削減	3.0
汚染物質回避	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化への配慮	3.9
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.2

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>3.9</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr><td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td><td>35.1%</td></tr> <tr><td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td><td>0.0%</td></tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	35.1%	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0%
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	35.1%				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0%				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>2.9</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt; なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt; なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{建物面積} + \text{建物面積}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
 ビューテック 株式会社 三好営業所 新設建物①

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>												
<b>Q1 室内環境</b>												
<b>1 音環境</b>												
1.1 室内騒音レベル				3.0	-	-	-	-	-	-	-	2.5
1.2 遮音				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
1.3 吸音				-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
<b>2 温熱環境</b>												
2.1 室温制御				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 室温				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 外皮性能				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2.3 空調方式				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
<b>3 光・視環境</b>												
3.1 昼光利用				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 昼光率				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 方位別開口				-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 昼光制御				5.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3.3 照度				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3.4 照明制御				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
<b>4 空気質環境</b>												
4.1 発生源対策				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
4.2 換気				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 換気量				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 自然換気性能				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 取り入れ外気への配慮				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>												
<b>1 機能性</b>												
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 バリアフリー計画			独自	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3 内装計画				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3 維持管理				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>												
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.5	2.7	0.52	-	-	-	-	-	2.7
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	2.7	0.33	-	-	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			②	-	2.0	0.23	-	-	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09	-	-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08	-	-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	3.0	0.15	-	-	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-
2.4 信頼性				0.1	2.0	0.19	-	-	-	-	-	-
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備				3.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-
3 電気設備			②	3.0	1.0	0.20	-	-	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法				3.0	1.0	0.20	-	-	-	-	-	-
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-



**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

ビユーテック 株式会社 三好営業所 新設建物①

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.9</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.9</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.7	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:35.1%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 ビューテック 株式会社 三好営業所 新設建物①

計画上の配慮事項	
総合	設備システムの効率化を図り、エネルギー使用量を削減している。
Q1 室内環境	工場・詰所は可能な限り外部に面した開口を設けることで、自然光利用に努めている。
Q2 サービス性能	快適な執務環境にするため、ゆとりある階高、天井高とし、フレキシビリティ性の向上に配慮した計画としている。
Q3 室外環境(敷地内)	周囲の環境に配慮した落ち着いた色彩計画としている。
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど、設備システムの効率化に配慮をしている。
LR2 資源・マテリアル	節水型の機器を用いるなど、水資源の保護に努めている。 また、詰所・休憩室にはOAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。
LR3 敷地外環境	燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。 広告物の照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。
その他	